

〈報道関係者各位〉

2014年3月19日

**「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2013」  
『優秀賞』と『優秀企業賞』をダブル受賞！  
～優れた省エネ性能と、省エネ住宅の普及活動に高い評価～**

株式会社LIXIL住宅研究所  
アイフルホームカンパニー

株式会社LIXIL住宅研究所アイフルホームカンパニー（住所：東京都江東区亀戸 1-5-7／代表取締役社長兼プレジデント：今 城幸）では、このたび、一般財団法人日本地域開発センター（主務官庁：国土交通省）が主催する省エネルギー住宅のトップランナーを選定する表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2013」において、アイフルホームの『セシボ』で優秀賞を受賞しました。さらに、3 回以上の受賞となるため「優秀企業賞」も同時に受賞しました。

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2013」とは、一般財団法人日本地域開発センターが主催する住宅の省エネルギー性と普及性に優れた住宅を表彰する制度です。建物外皮とエネルギー設備機器を一体として捉えて省エネルギー性の評価及び販売実績、設計・施工における標準化及びコスト対策といった普及に関する面について評価を行い、優れた住宅を表彰することで、省エネルギーや CO<sub>2</sub> 削減などへ貢献する住宅の普及と質的向上を促進することを目指すものです。



アイフルホームの『セシボ』は、「こどもにやさしい は みんなにやさしい」をコーポレートスローガンに掲げ、「キッズデザイン」の考えを取り入れた住宅を提案しています。通風・創風の工夫、節湯・節水機器、LED 照明などの省エネ設備の利用、さらには屋根・壁への遮熱対策の実施により、一次エネルギーの使用を抑えた取り組みが高く評価されました。

◆受賞内容◆

カンパニー名	アイフルホーム
受賞名／商品名	優秀賞 / 「セシボ」 <受賞対象地域>6地域※
特別表彰	優秀企業賞

※省エネルギー基準値による地域区分

株式会社LIXIL住宅研究所アイフルホームカンパニーは、「こどもにやさしい は みんなにやさしい」をコーポレートスローガンに掲げ、「アイフルホーム」ブランドの住宅フランチャイズチェーンを全国に展開しています。

【報道関係者のお問合せ先】

株LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当：千明  
電話：03-5626-8251 メール：[chigirak3@lixil-jk.co.jp](mailto:chigirak3@lixil-jk.co.jp)  
アイフルホームホームページ/TOP URL：<http://www.eyefulhome.jp/>

## 【参考】

### 優秀賞 アイフルホーム「セシボ」(6 地域)

『セシボ』は、「こどもにやさしい は みんなにやさしい」をコンセプトにキッズデザインの考え方を取り入れ、「全ての世代にやさしい家づくり」を考えて開発した商品です。環境問題、安全性、快適な室内環境、住宅保証、経済性、そして家族の絆と夢など、住宅が解決しなければならない問題を見つめ「家そのもので出来ること」の可能性を“もっと ずっと”追求した住まいが「セシボ」です。特に環境問題に対しては低炭素社会の実現に向け「省エネルギーから“少”エネルギーへ」に向けた提案を行っています。

#### ●開ける技術 ～通風・空調負荷低減～

夏の夜の風を室内に効率良く取り込み、温度差換気により高窓から排熱。

また、断熱玄関ドア(採風タイプ)やタテスベリ窓を多用し、屋内に風を取り込みやすくします。間取りの開放性、吹き抜けの採用。通風室内建具など自然の力を生かした通風などにより、できるだけ電力を使わない配慮を施しています。

#### ●閉じる技術 ～高断熱・日射遮熱～

次世代省エネ基準に対応した躯体。すべての窓に断熱サッシ、遮熱 Low-E ガラスを採用。さらに屋根には遮熱屋根材、壁には遮熱シートを採用し、外気による影響を抑えて冷暖房効率を高めることで快適性とECO生活を両立します。

#### ●省エネ技術 ～節湯・節水、省エネ機器の採用～

キッチン、洗面でのエコハンドル水栓、保温浴槽、節水型便器の採用や LED 照明の採用により省エネルギーに配慮しています。

※現在販売している商品とは一部仕様が異なるものがあります。



＜アイフルホーム「セシボ」外観イメージ



オーソドックススタイル(左) シンプルモダンスタイル(右)＞



＜通風・創風イメージ＞



＜通風室内建具(右オープン・左クローズ)＞